

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アイミッションズパーク春日井	階数	地下0、地上4階
建設地	愛知県春日井市六軒屋町西3丁目3番23、26	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	113人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年12月23日
敷地面積	7,118 m ²	作成者	川端 克尚
建築面積	3,969 m ²	確認日	2021年12月23日
延床面積	15,403 m ²	確認者	萩原 武典



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

★ ★ ★ ★ ★ ☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★ ★ ★ ☆ ☆

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	81%
③上記+②以外の	81%
④上記+	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.7</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">4.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>39.1 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>7.8 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	39.1 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	7.8 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	39.1 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	7.8 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">3.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
			評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.3		
Q1 室内環境								-		
1 音環境								-		
1.1 室内騒音レベル			3.0	-	-	-	-	-		
1.2 遮音			-	-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能			-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能			-	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	-	-		
1.3 吸音			-	-	-	-	-	-		
2 温熱環境								-		
2.1 室温制御			-	-	-	-	-	-		
1 室温			3.0	-	-	-	-	-		
2 外皮性能			3.0	-	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性			3.0	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	-	-	-	-	-		
2.3 空調方式			3.0	-	-	-	-	-		
3 光・視環境								-		
3.1 昼光利用			-	-	-	-	-	-		
1 昼光率			3.0	-	-	-	-	-		
2 方位別開口			-	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備			3.0	-	-	-	-	-		
3.2 グレア対策			-	-	-	-	-	-		
1 昼光制御			5.0	-	-	-	-	-		
3.3 照度			3.0	-	-	-	-	-		
3.4 照明制御			3.0	-	-	-	-	-		
4 空気質環境								-		
4.1 発生源対策			-	-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質			3.0	-	-	-	-	-		
4.2 換気			-	-	-	-	-	-		
1 換気量			3.0	-	-	-	-	-		
2 自然換気性能			3.0	-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	-	-	-	-	-		
4.3 運用管理			-	-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御			3.0	-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能								3.7		
1 機能性								-		
1.1 機能性・使いやすさ			-	-	-	-	-	-		
1 広さ・収納性			3.0	-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応			3.0	-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画	独自		3.0	-	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性			-	-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース			3.0	-	-	-	-	-		
3 内装計画			3.0	-	-	-	-	-		
1.3 維持管理			-	-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保			-	-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性								3.1		
2.1 耐震・免震・制震・制振			0.5	3.1	0.52	-	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			0.4	3.0	0.48	-	-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	3.0	0.80	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			0.3	3.4	0.33	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			-	4.0	0.23	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級」における等級2相当	-	2.0	0.23	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長いタイルカーペット等の内装材を採用	-	5.0	0.09	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			-	3.0	0.08	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要配管材の2種類以上にB以上を採用し、Eは不使用	-	5.0	0.15	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			-	3.0	0.23	-	-	-		
2.4 信頼性			0.1	3.0	0.19	-	-	-		
1 空調・換気設備			3.0	3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水・衛生設備			3.0	3.0	0.20	-	-	-		
3 電気設備			3.0	3.0	0.20	-	-	-		
4 機械・配管支持方法	②		3.0	3.0	0.20	-	-	-		
5 通信・情報設備			3.0	3.0	0.20	-	-	-		

3 対応性・更新性				0.4	4.3	0.48	-	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり				0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり		最も低い階の階高:6.5m	-	5.0	0.60	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.098	3.0	5.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			倉庫設定床荷重:15000N/m ²	3.0	5.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.2	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②		-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる	3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.57	-	-	-	3.1
1	生物環境の保全と創出	独自③	周辺地域の植生に基づいた緑化計画	-	4.0	0.30	-	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	独自④		-	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④		-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI=-	3.0	-	-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI=0.61	3.0	4.9	0.63	-	-	-	4.9
4 効率的運用				0.2	2.0	0.25	-	-	-	2.0
集合住宅以外の評価				1.0	2.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	1.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.7
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1	節水		衛生器具の過半に節水器具を採用	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.9	0.63	-	-	-	3.9
2.1	材料使用量の削減			-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	②	-	-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	床:OAフロア、床:ビニル床シート、天井:ロックウール吸音板	3.0	5.0	0.21	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	-	-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	独自	躯体と内装材は容易に分離可能で、かつOAフロアを採用	3.0	5.0	0.25	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない材料を1種類採用	3.0	4.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.5	0.68	-	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		ODP=0かつGWP≤50の断熱材を採用	-	4.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率81%	-	3.7	0.33	-	-	-	3.7
2 地域環境への配慮				0.3	3.4	0.33	-	-	-	3.4
2.1	大気汚染防止		燃焼設備の使用なし	-	5.0	0.25	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善			-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.7	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	トラック待機場を計画し、周辺道路の混雑緩和に寄与	-	4.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.1	0.33	-	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自		-	3.0	0.50	-	-	-	
2	振動	独自		-	3.0	0.50	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制			-	-	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.7	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		周辺環境へ配慮した適切な照明計画の実施	-	4.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)アイミッションズパーク春日井

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			3.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10
② 資源の有効活用			3.7
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.22
Q2-3	対応性・更新性	4.3	0.21
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.9	0.19
③ 敷地内の緑化			4.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.17
④ 地域材の活用			1.0
		(評価ポイント)	
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

外構緑化:39.1%/建物緑化:7.81%

なし

なし

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)アイミッションズパーク春日井

計画上の配慮事項	
総合	愛知県春日井市に計画された物流倉庫である。敷地内には緑地を設け、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。
Q1 室内環境	・評価対象外
Q2 サービス性能	・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。 ・ゆとりのある階高や積載荷重の設定により、高度な対応性・更新性に配慮する。
Q3 室外環境(敷地内)	・敷地の外周部は積極的に緑化を行い、生物環境の創出に配慮する。
LR1 エネルギー	・LED照明の採用により、エネルギー使用量削減に配慮する。
LR2 資源・マテリアル	・節水効果のある水栓等を採用し、水資源保護に配慮する。 ・ノンフロン断熱材を採用し、ODP値及びGWP値低減へ配慮する。
LR3 敷地外環境	・燃焼設備を使用せず、大気汚染防止に配慮する。 ・屋外照明や広告物照明に対してガイドラインを満足し、光害の抑制に配慮する。
その他	